

いずみニュースレター

令和3年4月発行 第19号

理事長就任に当たって

新年度を迎え、皆様には御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。

今年の2月1日より新しく理事長を拝命いたしました。福岡前理事長が築かれた法人いずみを引き継ぐには、身に余る重責ではありますが、精一杯の努力をしていく所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



理事長 川畑 庄二

福岡前理事長と一緒に仕事をしていますと、「利用者はどう思うかね。」「利用者やその御家族の思いはどこにあるのか。」「そのことは利用者にとって本当に良いことかな。」など、いつも利用者やその御家族に寄り添った言葉でした。私は、その言葉を聞きながら、何かを判断したり決断したりする時には、常に利用者やその御家族にとって本当に必要なことなのか、良いことなのかを基準にしなければならないこと学びました。そのことを大事にしながら、法人いずみの経営や運営に携わっていきたいと思います。

法人いずみでは、平成17年の創立以来、障害者福祉とりわけ重度心身障害児者の生活向上を目指してきました。現在では、法人全体で、8つの事業（あゆみの家成人部、あゆみの家幼児部、ライフサポートつばさ、放課後等デイサービススマイル、児童発達支援ひまわり、ホームヘルプひだまり、相談支援事業トビラ、日中一時等）を展開し、一人一人の障害者の生涯に亘る継続的、持続的な福祉サービスが提供できるようになりつつあります。

このような事業の拡大や充実は、福岡前理事長の陣頭指揮を執っての取組や鋭い先見性から生み出されたものです。福岡前理事長の功績や経営理念をしっかりと引き継いでいくことが、私たちの大きな使命だと思っております。

今後も、東村山市をはじめ関係機関と密接に連携し、地域福祉の一拠点としての機能を充実させ、その上で、地域の様々な生活、福祉課題に積極的に対応し、法人の取組を広く公開する中で、地域とのかかわりを大事にしていきます。

福岡前理事長は、「法人いずみは、常に利用者と目線を合わせ、御家族の思いや意向も汲み合わせて、より適切な支援や福祉サービスを永続的に提供することを大きな目的としている。」と話されておりました。この思いこそが、正に法人いずみの創立以来の信念であります。このことを基に、福岡前理事長が示された三つの誓いを法人いずみの理念として掲げ、全職員がそのことを胸に刻みながら、利用者支援や福祉サービスの充実発展に取り組んでいく覚悟でございます。

今後共、法人いずみをどうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人いずみ 理念（三つの誓い）

一つ **利用者支援 力の限りの約束**

利用児者、その家族を力の限り支援し、家族目線で益々の安定と安心に沿うよう誓います

二つ **法人役職員 一致団結支援の約束**

役職員上下の区別なく、心をつ一つにして、利用児者、家族の生活の益々の安寧の為、多くの意見を取り入れながら運営することを誓います

三つ **更なる高みに向けた挑戦の約束**

障害者福祉、地域福祉に注力し、行政、関係機関、地域関係者と連携、協調、協働を通して、積極的に貢献することを誓います

各事業所管理者紹介

あゆみの家成人部 管理者 亀井 雄一郎

令和3年4月より、成人部管理者を拝命しました亀井です。

成人部の業務管理を担当する立場となり、微力の身ではありますが、より一層職務に専心する所存です。

新年度が始まり、新しい企画、行事等が計画されています。そのため、利用者様・職員共に活気に満ちた雰囲気が感じられているところです。

さて、昨年より続く新型コロナウイルス感染症対策のため、他施設との交流会や宿泊行事、グループ外出等、行事の中止や制限があり、利用者様がたくさんの人と交流する機会や、外出先での通常とは違う体験が十分にできなかったのはとても残念でした。

一方で、お化け屋敷や夏祭り等、例年には無い行事を開催し、利用者様に楽しんでいただくことが出来ました。

今年度も、利用者様に「成人部に通うことが楽しい」と思っただけけるよう、職員一同創意工夫を重ねながら努力し取り組んでまいります。



多機能型事業所ひまわり 管理者 小山 大志

4月からひまわりの管理者となった理学療法士の小山大志です。私は19歳の時にひまわり放課後等デイサービスの前身である障害児の放課後クラブにアルバイトとして入社してからずっとお世話になっていました。理学療法士の資格を取った後からはひまわり児童発達支援にも携わらせて頂いていたので、このたび管理者として就任させて頂きとても嬉しく思っています。



近年、重症心身障害児が通所できる施設が地域に増加したことで利用者が通所施設を選べる時代となりました。私が働き始めた頃は重症心身障害児が通所できる施設は少なく、通いたくても通えない方も多かったので、とても良い時代に変化してきたと感じています。その一方で事業所は利用者に選ばれる事業所でなければ生き残れないのが現状です。これまで以上に活動内容やサービスの質を向上させ、利用児、保護者ともに満足のできる事業運営を行っていきたいと考えています。



ライフサポートつばさ 管理者 千葉 英之

4月1日より、ライフサポートつばさ管理者になりました千葉英之です。

私が社会福祉法人いずみに入職し14年が経ちました。今まで、利用者さんの笑顔や言葉に励まされ、楽しく過ごしてまいりました。

これからも、利用者さん、職員と協力しながら頑張っていきたいと思っておりますので、みなさん、よろしくお願いいたします。

ライフサポートつばさは、リハビリ、レクリエーション、作業、創作、リラクゼーション、サークル活動などを行っています。サークル活動は、好きなこと得意なことが同じ方が集まり、グループで活動しています。

利用者さん個々のペースで、つばさでの活動を楽しんでいただき、つばさに来ることが毎日楽しいと思っただけのような、施設を作って行きたいと思っています。



あゆみの家幼児部 管理者 田中 裕樹

昨年度4月よりあゆみの家幼児部の管理者を拝命しております、田中裕樹です。

お子さんたちが楽しいのはもちろん、母子通園でいらっしゃるお母さん方も楽しいと思っていただけるように、また、お父さん方も行ってみようと思っていただけるような療育時間、雰囲気を作っていければと思っています。

お子さんや保護者の皆さまに選んでいただけるような魅力ある療育、保育を展開し、他事業所の優れた部分も取り入れながら、日々前進していきます。今年度もよろしくお願ひいたします。



ホームヘルプひだまり 管理者 梶沼 知徳

4月から異動になりひだまり管理者に就くことになりました。ひだまりのスタッフは経験豊富なベテラン揃い、居宅介護の制度や現場などの知識についてはスタッフの方々から教えていただき一から学んでいきたいと思ひます。

特に今も続いている新型コロナウイルス感染症対応では、各ヘルパーに大変大きな責務が求められています。居宅介護は利用者さんにとってとても重要で生活に不可欠なものでもあり、私たちにもやりがいがあります。感染症対策を万全に行いながら、地域生活を豊かに送れるよう引き続き努力していきたいと思ひます。

又、今年度マネージャー制が新たに始まりました。2名のマネージャーと共に協力し、お互いの役割分担を確認しながら、より良い効果が発揮できるよう努めてまいります。



相談支援事業所トビラ 管理者 江崎 明子

相談支援事業所トビラ管理者江崎です。いつも明るく元気を取り柄の私です。相談支援とは言うものの、すべての皆様の相談に対してしっかりとお応えできているのかどうか、いつも反省するところです。

利用者の皆様や、ご家族様が本当に安心して過ごしていらっしゃるのか、まだまだサービスが足りないところ等、皆様にお応えできるよう、不足しているものや無いものも作り出さなくてはいけないのです。そこまでは力及ばず・・・です。皆様にお会いできることは、とても楽しみで、それが私の幸せの元、元気の素です。東村山市とその近隣市で暮らしていらっしゃる皆様方が、必要なサービスを受け、またそのサービスをご本人、ご家族が十分に納得して受けられるよう、今後もお手伝いをしていきたいと思えます。



送迎バスのリニューアル

あゆみの家成人部（生活介護事業）

3月22日、成人部に新しいバスが納車され、桜のつぼみも待っていたかのように顔を出しました。

ひだまり職員の星さんによる、森をイメージした成人部らしい落ち着いたデザインです。

利用者の皆さまもバスに乗ることが好きなので、これからも楽しく安全に送迎を行っていきます。

購入に際し、東京都共同募金会の助成をいただきました。
ありがとうございました。

担当：岡元



ありがとうございました

去る令和3年2月25日、福岡憲二前理事長が急逝されました。享年79歳。福岡前理事長は平成17年法人いずみ創立の準備期から奔走され、平成19年から14年にわたり理事長として法人いずみや東村山市内外の身体障害児者、重症心身障害児者の福祉を牽引してこられました。そのご功績は一言では語りつくせませんので、次号でご紹介したいと存じます。

法人いずみの経営陣が福岡前理事長の病状を知ったのはご逝去の2か月前です。福岡前理事長は最後の最後まで、入院中のベッドの上から電話、メール等を使い、また、提出した紙面への訂正、追記等、様々な形で指示を出し、今後の示唆を発信してくださいました。

厳しくも暖かい激励や指示、今後への熱い思い、そして周囲を和ます冗談や気遣い等々、厳しいからこそその優しさに満ち溢れた数々のメッセージは、私たち法人いずみの随所に深く刻まれています。

私たち、法人いずみ役職員一同は、法人いずみの創立時の思いを忘れることなく、また、今回明文化した、法人いずみの理念「三つの誓い」を根幹に、更なる高みに向けて精進していくことを福岡前理事長にお誓い申し上げ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



ご寄付をいただきました(令和3年3月)

福岡彌壽子様(福岡前理事長奥様) 1,689,000円
法人いずみの利用者様のために大切に使用させていただきます。

発行元：社会福祉法人いずみ
東村山市富士見町3-3-4
TEL 042-394-1868

※記事内の写真についてはご本人の了承をいただいております。